

団体名	特定非営利活動法人 のりあい善行
企画名	乗合いタクシー「のりあい善行」の利用者拡大事業
補助金額	300,000円

企画の目的

高齢者などの移動支援事業を展開するために、人材・財政基盤の強化を図る。きめの細かい新しい公共交通事業を安定継続することを目的とする。

主な内容と成果

・広報活動

「のりあい善行通信」を3回発行…各号約 3,300 部を発行

- ①発行した通信紙を団体会員の東部地区自治会・町内会の全戸に配布（約 2,000 部）
- ②善行地区の自治会・町内会に回覧を依頼（約 900 部）
- ③事業サポーター・市民センターの窓口にて配布を依頼（約 400 部）
- ④運行している車両にて配布

地元サポート会員の方へ配布して、会員の増加、利用者拡大を狙い会員から口コミ勧誘を行った。

・「一部運行時間の混雑」課題に向けた検討・解決

利用者拡大に伴う一部の運行時間の混雑状況について、課題解決に向けて地域の自治会・町内会の役員等に声掛けを行い、分散乗車のお願いをした。利用者の方に上手く利用して頂く風土は出来てきたと思う。

検討を重ねた結果、運行時間を変更するため、運転手の休憩時間・昼食時間の変更を行うことで混雑を緩和することができた。平成 30 年度の試用期間を経て、平成 31 年 4 月から変更を実施することにつながられた。この変更を含めたリーフレット・時刻表を印刷し、乗車時の注意事項や回数券の販売を記載した。（700 部）



作成・配布した通信紙（上）、リーフレット（左下）

新しいサポーターカード・回数券（右下）が、サポート会員にとっても好評

反省点・課題など

・地域からの要望を反映した運行コース・時間の変更等の対策を検討するが、公共交通事業にとっての変更はかなり時間のかかる作業となる。安全に遅延のない運行を確保する難しさに悩まされた。

・資質基盤強化のために関係するスタッフに運行するためのシステムを理解してもらうことが大切だが、上手く伝えられないところがあった。